

# たまびき

四十手前。働く女のこだわりのモノ、コト、諸々。

2013年9月 (創刊号)

端的に言って、電子図書を「読む」とは「読む」ではない。

当然、Kindle だと、Amazon で「売」る「読む」のではなく、  
「読む」ました。

何の本「読む」のかは、いろいろ考えました。H にも、

普段、マーケティングが「読む」のかは、かなり「読む」でしようか。

売れる = 分かりやすい = 消費がしやすいモノ / コンテンツを  
「読む」のか「仕事」にならして、たんに「読む」。

わかりにくいモノの「読む」 = 楽しいモノの「読む」にならして。

そんなわけで、敵は、フリーダム。コンテントが「読む」のか  
「読む」は、1冊「読む」ことにしました。

しかし「普段」は「読む」こと、しつと、好きなもの、ちよと「読む」  
「読む」... etc...

これから「読む」が「読む」ことを願って。

島崎 たまえ。

## もくじ

---

### \*作ってみた

身の回りのものを自分で自作する試みです。今回は「通勤カバン」。たまにレシピもつきます。

### \*気に入ってるモノ

すごく気に入って使ってるモノ。買ってきたもの。今回は「万年筆」

### \*かながわの街

わたしのホームグラウンドである神奈川県にある街をだらだらと紹介します。市町村レベルの話から。今回は「横須賀」カレーと軍港とコスプレの街。

### \*お気に入りの店

わたしが見つけたすっごくいいお店を紹介。個人商店がほとんど。大資本に全く興味無し。食品から飲食店、なんでも有り。今回は川崎のお肉屋「伊勢屋」さん。ドイツソーセージまじ美味しいです。

### \*時間術

わたしが普段やってる時間のやりくり術を紹介。今回は「朝カフェ」のススメ

### \*兆し

日々の生活で「あっ！」と思うことってないですか？ わたしはあります。今回は「易と兆し」について。



通勤バッグを自分でつくることにハマっています。

バッグをつくるっていうと、布とか革ですよ。革だと道具もたくさん必要です。ハードルが高いので、布でつくる人が普通だと思うのです。

布で作るとなると、ミシンでダダダって縫う感じですよ。でも布だとやはり、芯を使ったとしてもクタクタのズダ袋になっちゃうんです。

高校生とか大学生が使ってるとような、ズダ袋ですよ（笑）。

そうするとわたしみたいな40手前のオンナが使うにはチトかっこ悪い。

そんなこともあり、布＋スライサーシールという、革細工用のシールタイプ接着芯を使って補強する作り方にハマっています。

「縫わないバッグ」というので、接着シールとカシメ（金具）止めでバッグをつくっている方に教わったんですけども、わたしはミシンで縫うのも好きなので、接着シールで補強した布をミシンで縫ってつくってみました。



バケツ型バッグってやつですね。底は楕円形。

ポケットをたくさんつけてみました。

いやあ、まあ、なんだか小物をたくさん持ち歩くんですよ。

手帳、メモ帳ノート。日傘、キーケースにペンケース。ipodとwifiルーター。化粧ポーチ、USBメモリのケース、名刺入れ、そして財布。

バックインバッグを使ったりもするんですけども、ポケットがあればそれは便利。

でもこのバッグでは、ちょっと失敗しましたね。ポケットに入れたものの重みで、バッグの形が崩れるのです。

また今度、違う形のものをつくって改良していきます。



さて、こちらは緑の水玉バッグよりも先につくったものです。

A4の書類が横に入るトートバッグなのですが、入れるとちょっと上が数センチはみ出るぐらいのサイズです。

さてこのA4サイズの書類に悩む女性は多いのではないのでしょうか（笑）？

何しろ、大きいバッグは可愛くない。A4書類のことを考えなければわたしの場合はA5サイズでほぼ間に合うので荷物がコンパクトにまとまります。バッグだって小さくたっていい。

けど、A4サイズの書類を持ち歩くことがあるのです。むむむ、ここが悩みどころ。

つまり、A4サイズ“も”入るバッグのサイズが一番よいわけです。

というわけで、このちょっとはみ出るサイズなのです。

手作りすると、自分の好きなサイズでつくれるから本当によいですよ。自分でつくると愛着もわきますしね。

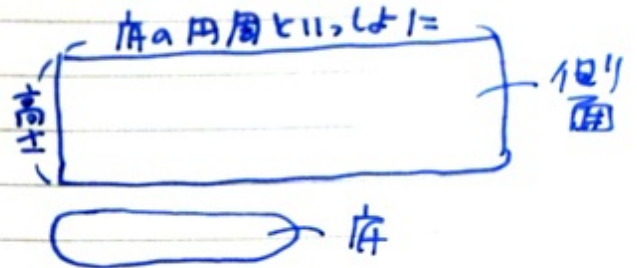
# 通勤バッグ (底が丸型のバッグ型ト) のつくりかた。

①



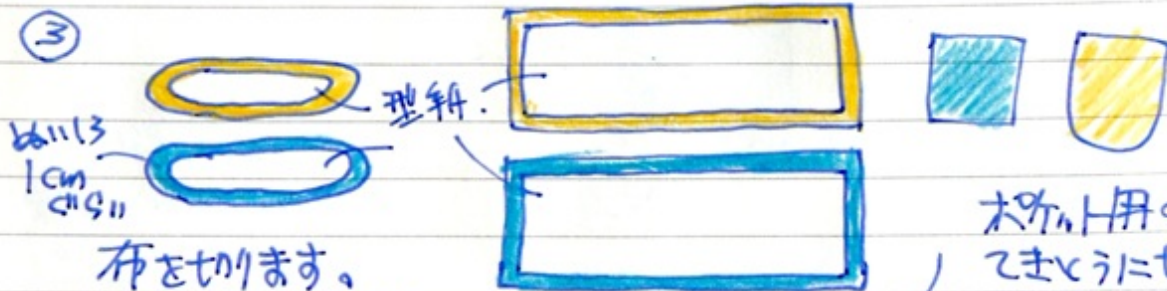
まずは底のサイズを  
決めるところから。  
(わたしはA4サイズか  
A5サイズにしました)

②



カシメの裏とかで、型紙を  
ついで、サイズを確認すると  
いいですね。

③

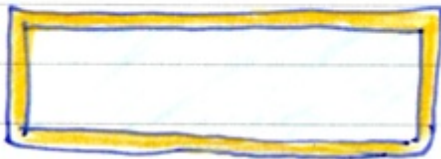


布を切ります。  
底も、側面も裏表で  
1枚ずつ。ぬい3を1cmずつ  
つけておきます。

木型用の布を  
てまじりに切ると  
よいかも。

③' 木型をつけるなら、この型に  
7つときましよう

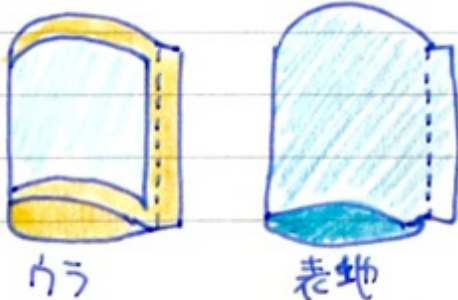
④



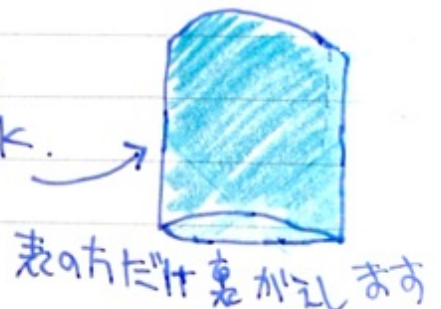
スライサー0.6cmのシートを裏布に  
貼ります (型紙と全く同じ大き  
さに切ったやつです)

スライサーシートというのは  
革細工用の補強シートで!  
0.4cm~1.2cm幅あります。  
"浅草ゆうらふ"というお店で  
しか売ってませんが、コ  
スと便利です (web通販有り)

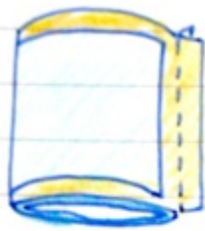
⑤



中表には  
筒状にぬいます。  
両面7°でもOK.



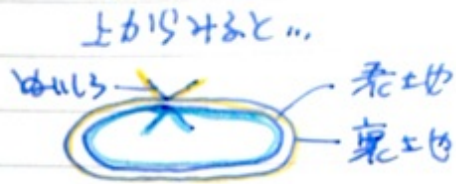
⑥



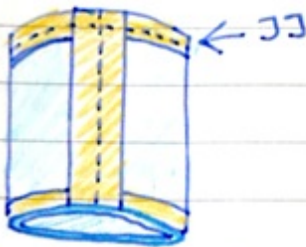
表地を裏地の筒の中に入れて



ぬいしろを割って縫い合せて

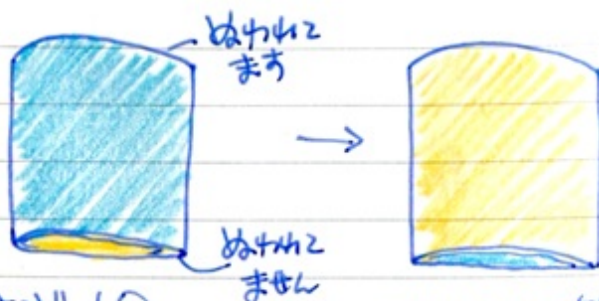


⑦



筒の上をぬいます。ぐるりと一周。二にカッ上のフチに合います。もし持ち手をぬい付けるならココではんだでぬくといいし。布たいはしなないけど。

⑧

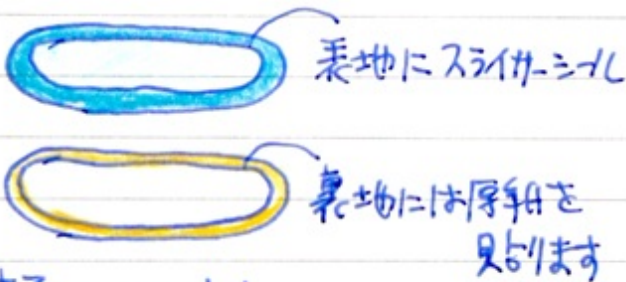


まち、10、ひっくりかえします

で、もう10筒に。裏の方をオモテにします

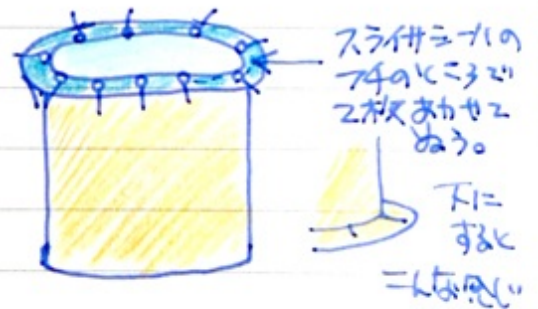
⑥ ココマテで側面を縫いました。

⑨



内面をつくります

⑩



内面表地だけと、筒をぬいおしせます。... まち針とめふか、しつけぬいしよう。1番んじかいとこ

カッパのこすねは ↓



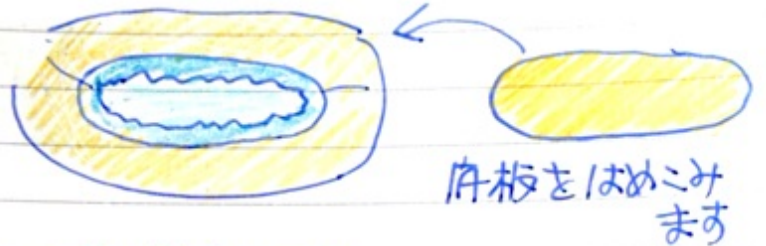
裏の方はあとではめこすねのたの2、折り返して縫い合わせぬいしろをまち。



11 しっかりと折ります

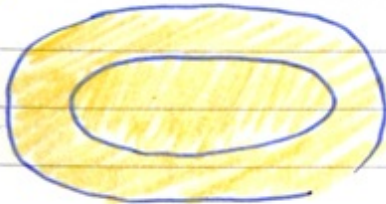


12 中の紙と紙..  
こうなるように



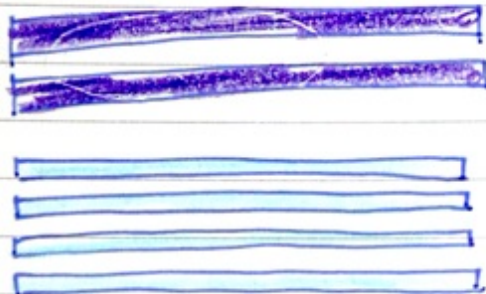
内板をはめこみます

13



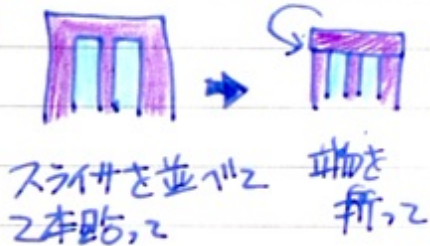
こうなります  
内板はホルムに  
つけるといいです。

14 次、持ち手です



出来上がりのサイズのスライサーを  
4本. それ以外, その幅の4倍の幅の  
布を切ります

15



スライサーを並べ  
2本折る



幅を  
折ります



断面図は  
こうです

\* 似たような両面テープ  
だといいです。

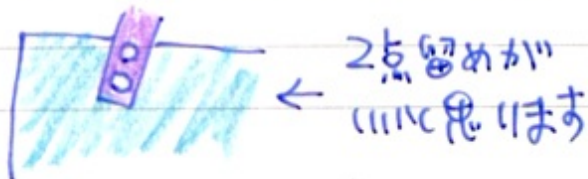
ここに縫う  
1折り。



16



付けたら  
穴あけ  
カシメはめ  
トカチでトクです。



2点留めか  
いいと思います



できました!!

万年筆 ----- 気に入ってるモノ

---



万年筆が好きです。



文字書くのが好きだからですかね？ それとも女子はみんなそう？ とにかく筆記用具は昔から好きでした。

基本的には水性ボールペンが好きだったんですが、30代後半を迎えたとき、なんとなく……本当になんとか万年筆を使うようになりました。

万年筆ってちょっとお高いです。でも、この文字にすごく味がある。インクのかすれやインクのにじみで線の太さが変わるところにたまらない魅力を感じるのです。

とりあえず、たくさん持っても愛着が沸かないので。わたしは今のところ2本です。

SAILORの青墨インクが使いたかったので（にじまないのです）2本ともセーラーですね。

赤い方は「ヤング・プロフィット」っていう、初心者向けの万年筆で5,000円ぐらいかな。細い方は、その倍ぐらいのお値段。両方ともとても気に入っています。

とくに、赤い方は万年筆にしては安い方ですけどもその分使い倒せるので、ラフな筆致にも耐えてくれています。



さらにね。キャップの着せ替えをよくやっています。汚れたり、飽きたりしたら取り替えるんです。

布とかマスキングテープとか。チェックのは、デコパージュ用の薄い紙を使いました。

decopatch（デコパッチ）っていう画材屋さんや、手芸洋品店で売ってるやつです。

でも、最近はこの布がいいですね。肌触りがいい上に、ノートとかとお揃いにできます。

貼るのは両面テープなので、ちょっと出っ張るんですけどもそこも良いです。

これでオリジナルな万年筆の出来上がりです。

## 横須賀のまち - - - - - かながわの街

---

わたしは仕事柄、神奈川県内の街によく行きます。

かながわは、日本の縮図みたいなところもあって。都会から田舎まで、様々なまちがあります。ひとまず市町村レベルで、わたしの好きなまちをひとつずつご紹介していこうと思います。

今回は横須賀を選んでみました。

立派なアーケードのある商店街がちらほらあります。



こちらは、衣笠商店街です。

横須賀は三浦半島に位置していて、山と谷で地区が区切られてしまう立地なんですね。

だから衣笠商店街は地域の人たちには無くてはならない場所で、いつもお買い物客で賑わっています。

最近、聞くところによると九龍城みたいなビルがあって。そこで飲み歩きイベントをやっている  
そうです。

ステキな試みです。



横須賀というと、スカジャンのイメージあるかもしれません。

さいきんはちょっと少なくなりましたがねー。



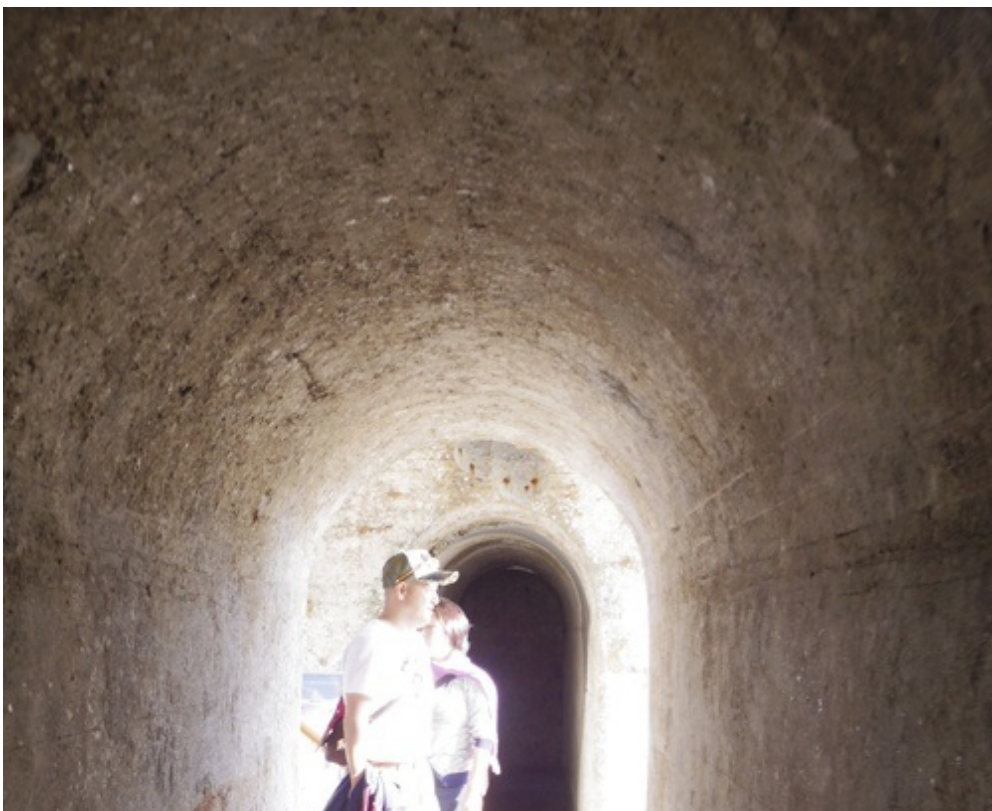
どぶ板通りですね。

最近はいろんなイベントをやっています。アメリカドルがお店でも使えるイベントや、アムレスリング大会なんかもやっていました。

TUNAMI っていうお店でネイビーバーガーが食べられます。ボリュームで大きなハンバーガーで、美味しいですよ。



で、これ何かって言うと「第三海堡」です。  
戦時中に海につくった人工的な要塞ですね。  
これは昔、海にあって沈んだものをひっぱりあげて展示しているものです。たまに公開されています。







この岩ごつごつのなんともいえない雰囲気があります。

で、この施設はどうやら、猿島とともにコスプレイヤーに人気らしいのです。非日常性があるからでしょうか。

短い間に横須賀は、すっかりレイヤーの方たちに親しみやすいスポット満載の場所になりました

。



それを証拠にほら。

横須賀市内の商店街の皆さんはレイヤーさんたちに寛容で、ハロウィンの時には一ヶ月通じて様々なイベントをやっています。

普通の仮装もよいし、アニメや漫画のコスプレも良いですよ。



これは観音崎の付近ですね。

横須賀、ドライブしてみると、けっこういろんなところがあります。

実はわたしは猿島にまだ行った事がないのです。船に弱いので、軍港めぐりもまだです。

ただ、お車ですと半島なもので道が込み合ってしまうことがあります。京急を使うとよいかと思います。JRはちょっと不便です（笑）。



ほんとーに良いもの、美味しいものは個人店にしか売っていない、とわたしは思っています。  
なんと申しますか、経営者の思いや経営理念が先にあるって、儲けるということはその思いに付随するからです。

たくさん売って儲けてやるぞ！ という大資本とはやっぱちょっと違うのですよ。

そんなわけで、今回は川崎の小田急線沿い「読売ランド前駅」にある、ハム・ソーセージのお肉屋さん「伊勢屋」さんです。



この店はすごいのです。

売っている商品の主力は、ハムやソーセージです。他にもブランド牛などの精肉とお惣菜類を扱っていますが、お客さんは圧倒的にこのハム・ソーセージを買っていかれます。

なぜって、とても美味しいからです。それに尽きます。

写真では分かりにくいと思いますが、伊勢屋さんはドイツでの食品コンテストで1位を受賞する腕前なのです。

なんだかよく分からないモンド・セレクションと全然違いますよ（笑）。

ハムやソーセージと言ったらドイツではないですか。そのドイツ本国で日本人が1位とってしまうのだから。すごいのです。

お店のパンフレットに書いてありましたけど、まさに「日本で言ったら、お寿司のコンテストで外国人が1位を取ったようなもの」なのです。



ハム・ソーセージ用の機械をずらりとそろえて、ドイツの塩や調味料で忠実に味を再現しています。肉と調味料の以外の混ぜ物なしです。

ドイツでの味を知ってる人は「同じ味だ！」ってビックリするんですって。

わたしはドイツには行ったことがないのですが、ソーセージをいただきました。

まずね、皮の触感がいいです。

パリッとしすぎないのです。スーパーで売ってるちょっと高いソーセージって、噛むと「パリッ」とするでしょ。

でも優しい歯ごたえなんですよ。んでもって肉汁が出てきて。すごくナチュラルなお肉の旨みが味わえます。



人気商品はコレ。

いいお値段しますが、本当に味は保障しますよ。美味しいです。



現代人はどの人も忙しいですよ。

学生なら暇なのか、主婦なら暇なのか……？ って、そんなこともなくて。

時間というのはその人ならではの使い方があって、ものすごくパーソナルなもので。

やっぱりうまく使えなかったりすると「忙しくて無理だった」とか、勿体ないとか思われてしまうものだと思います。

さて、わたしもご多分に漏れず「忙しいなあ」と日々思っている人間です。

あれもしたい、これもしたいと思うのですが時間も取れない。

でも、ですね。

よくよく考えると、アレですね。まず休み時間をつくるのが大切なように思います。  
一時停止。静止。ちょっと立ち止まる。  
そんな時間が取れると、以外にも時間をうまく使えているような気がしてくるものです。

わたしのそんな「静止」の時間は、朝カフェです。

平日は毎朝、ちょっと早めに家を出て保育園に子供を預けたあと、20分ぐらいですかね？ 会社の近くのカフェでゆっくり落ち着く時間をつくっています。

何をしているかという、その日の予定を確認したり、何か考えていた企画を紙にまとめて整理したり。そんなことなんですけども。

やるとやらないとは全然違います。

ええと、何が言いたかったかという。

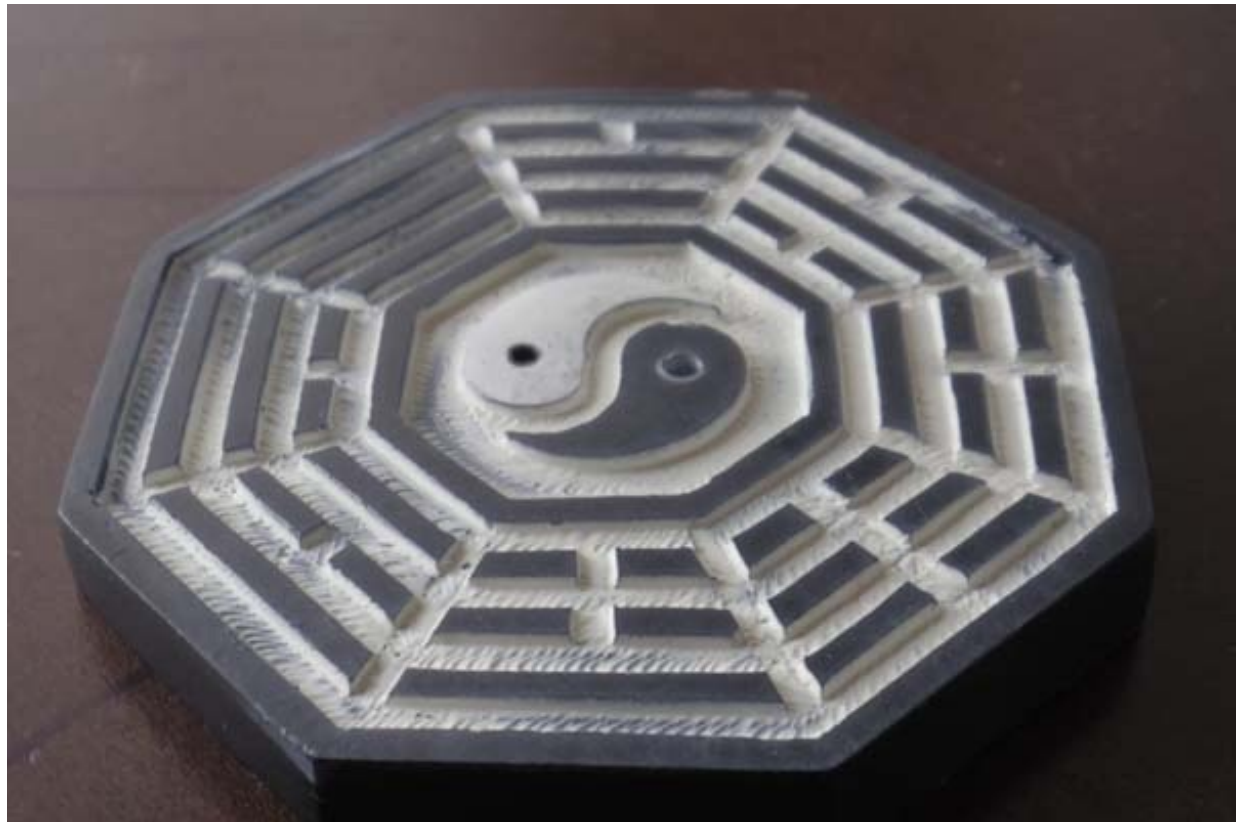
時間術の話をする前に、一番最初に、大切なこと。それはまず「休み時間」をつくること。だということなのです。

落ち着く時間があれば、自分を客観的に見られるはずです。

落ち着かないまま忙しい忙しいとやっていると、自分を客観的に見られずに、うまい時間配分が難しくなります。

そういうことなのではないでしょうか。





実は、子供のころから占いがけっこう好きです。

「あのヒトはB型だからわたしと合わない」みたいな、他人をラベリングするような使い方はしなくて。

今日どこ行こうかな、みたいなときのアミダクジのような使い方が多いです。

なので、星占いとか血液型みたいな人をカテゴリーにはめるようなのじゃなくて、タロットカードとか易とかが好きで、自分でもよくやります。

で、ここ数年面白いなあと思っているのが「易」なのです。まだ他人を占えるぐらいにはなってませんし、独学ですけども。

易経って、英語でいうと「Book of Changes」なんですよ。

つまり変化の専門書。

古来から君主が易で占ったってのは、それなりに合うものがあるからなんですね。

経営者の方にも易がお好きな方は多いかと思います。

要するに、何か困った時の占いとしては易が最適なんですよ。

「今こういう状況ですよ」というのを教えてくれる。

だから〇〇しよう、というのは残念ながら自分で考えなきゃならないですけどね。

でも、そういうものじゃないですかね、占いなんて。

ここに易のやり方を書くよりも、たぶんインターネットでそれらしいツールを見つける方が早いので、気になった方はそれを探してみてください。

スマートフォン用のアプリもありますよ。

それで「易」で大事にしている概念に「兆し」というものがあります。

君主……まあ現代で言ったら、会社の経営者ですね。経営者に最も必要とされる能力の一つが「時代の先を読む」ということなのです。

それが「兆し」を見ることです。

例えば、スマートフォンが流行り始めたときに、いち早く自社の特性を生かしたケースなどを開発すれば、商品は売れるでしょう。会社は儲かります。

でも、流行っちゃってる今では、先行者が利益を持っていて、後発の自社にはあまり旨みがないケースもありえます。

「兆し」という概念は、この例で言うと、スマートフォンが流行りだしたタイミングではありません。

実のところ、もう少し前の段階を言います。

流行るかもしれない。

みんなが持つかもしれない。

持っている人を見かけた。

……ぐらいのタイミングが「兆し」です。

流行っていて誰でも見れば分かる状態の時は、実は「兆し」とは言わないのです。

理由はお分かりのはずです。

そんな時に商品開発したって遅いのです。

「この先、こうなるかもしれない」と「兆し」を掴んで、商品開発をしておいて備える、というのが、経営者の正しい姿、といっても過言じゃないでしょう。

でも、その「兆し」を見誤ることはよくあること。

すごく難しいことですよね。

わたしとしては、易は、そんな「兆し」のパターンを64種類+ $\alpha$ に分けて、解説してくれているのかなあと思います。

占う云々の前に、こういうパターンで時代は流れるぞ、みたいな類型なのではないかと。

かくいうわたしも、現在いくつかの「兆し」を感じてはいますが、それが見誤りではないかどうか。日々、頭をひねったり、直感を頼ったりしているのです。

みなさんはいかがですか？ 何かの兆しを感じますか？

たまびき (2013年9月号)

<http://p.booklog.jp/book/76017>

著者：島崎たまえ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/ikitama/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/76017>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/76017>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ